

高速5号線の計画概要

1. 事業概要

1.1 はじめに

広島都市圏では、山陽自動車道・中国横断自動車道などの高規格幹線道路の整備に対し都市内の道路網の整備が遅れている。そこで、中国四国地方の中核都市である広島市の都市機能をより高めるため、都市交通の高速性・定時性を強化する自動車専用道路網の整備が急務となっている。

国土交通省、広島県及び広島市ではこのような状況を踏まえ、広島都市圏の主要な幹線道路を自動車専用道路として整備することとした。さらに、この道路網を効率的かつ早期に整備していくため、指定都市高速道路として整備が行われることになった。

図-1.1に広島高速道路図を示す。



図-1.1 広島高速道路図

1.2 高速5号線概要

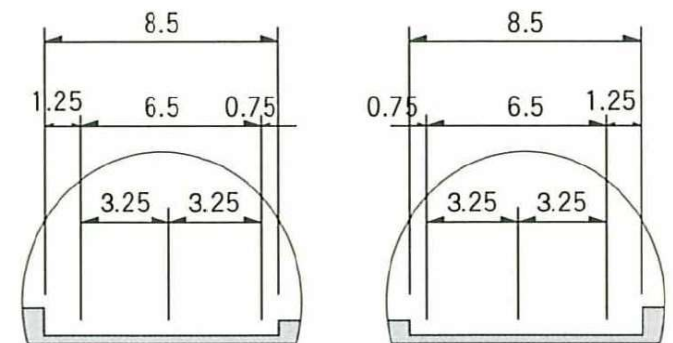
広島高速5号線は延長約3,980m（トンネル部の延長約1,830m）、起点の中山側から終点の広島駅側に向かって下り勾配0.4%で計画されている。

広島市の北東部地域や広島高速1号線と都心部を連絡する主要幹線道路として位置づけられており、広島高速5号線と広島高速1号線によって、山陽自動車道広島東ICと広島市都心部が自動車専用道路で直結し、広島駅周辺と広島空港間の高速性・定時性を確保するものである。今回は、暫定2車線（南側の上り線）を整備する計画となっている。

表-1.1に広島高速5号線の諸元を示す。また、トンネルの標準断面図を図-1.2に示し、ルートの概要図及び縦断面図を図-1.3に示した。

表-1.1 高速5号線の諸元

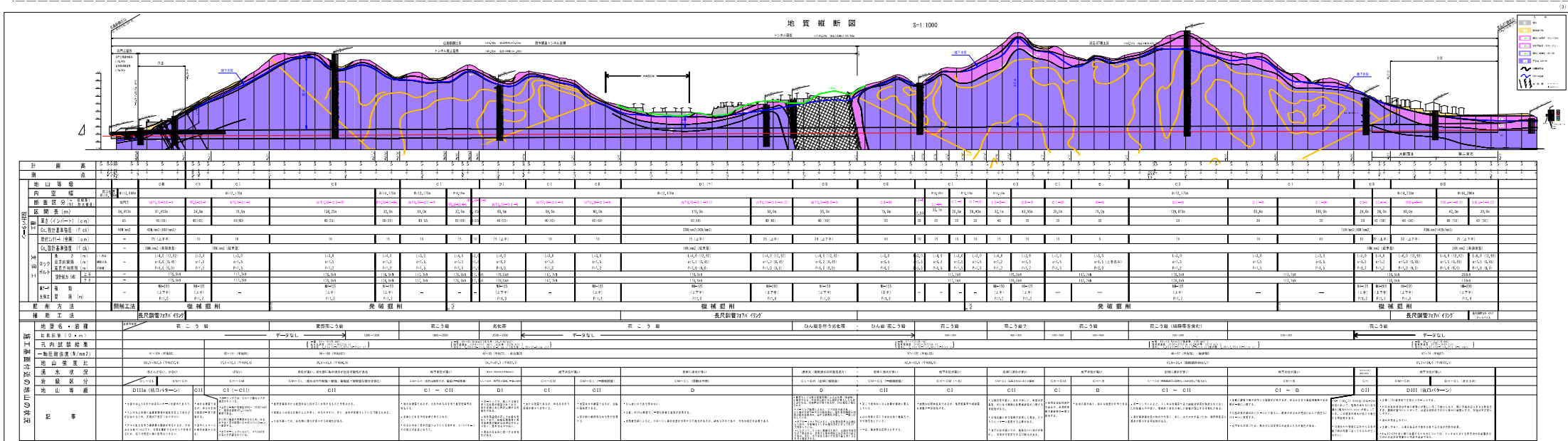
区間	広島市東区温品町～広島市東区二葉の里三丁目
延長	L≒3,980（トンネル部 L≒1,830m、高架部 L≒2,150m）
道路規格	第2種第2級（自動車専用道路）
設定速度	60km/h
標準幅員	18m
車線数	4車線
計画交通量	暫定時：12,600台/日・本 完成4車時：16,610台/日・本
大型車混入率	9.7%
トンネル防災等級	A等級



(単位:m)

図-1.2 トンネル標準断面

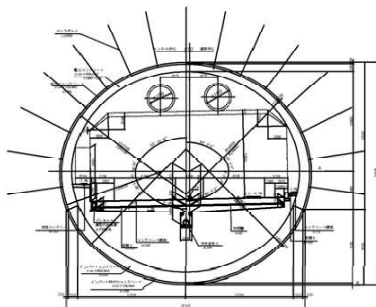
図-1.3 高速5号線ルート概要図・縦断図



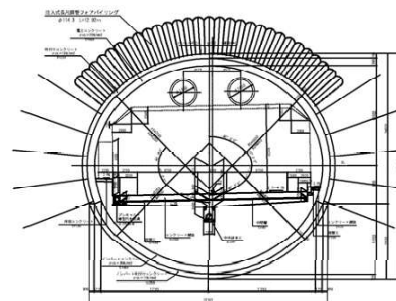
5 号線トンネルの課題



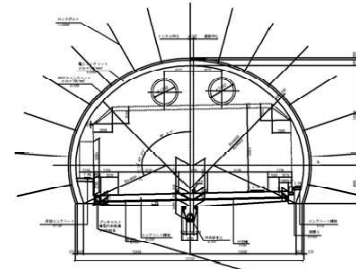
防水型トンネル（標準部）
WT0.56-CⅡ-B



防水型トンネル（補助工法部）
WT0.26-DⅠ-K(2)



排水型トンネル（標準部）
CⅡ-B



排水型トンネル（大断面）
DⅢw-1-K(2)

